305-34115B

ICPEsolution Version 1.20
ソフトウェア リリースノート

【内容】

1. はじめに
2. 機能変更と不具合修正
3. ICPEsolutionをお使いになる上でのご注意

【おことわり】

本書の著作権は 株式会社 島津製作所が所有します。当社の許可なく内容の一部または全部を転載・複製することはできません。
本書の内容は、改良のため将来予告なく変更されることがあります。
本書の内容は作成にあたり万全を期してはおりますが、万一誤りや記載漏れ等が発見されても、直ちに修正できないことがあります。
本書の内容による運用の結果の影響に関しては、責任を負いかねますのでご了承ください。

© 2009 Shimadzu Corporation. All rights reserved.

島津製作所
分 析 計 測 事 業 部

1. はじめに

このたびは、島津マルチ形ICP発光分析装置ICPE-9000用ソフトウェアICPEsolutionバージョン1.20をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本書は、ICPEsolution バージョン1.20の変更点と不具合修正点を記述したリリースノートです。
また、ICPEsolutionを使用する際の注意点についても、記述してします。
ICPEsolutionのご使用に際しましては、本リリースノートの内容をご理解の上、ご活用くださいますようお願い申し上げます。

2. 機能変更と不具合修正

Ver 1.10 → 1.20

1. データエクスポート機能
   分析結果を、CSV形式またはタブ区切りテキストの形で、ファイルに出力できるようになりました。
   （詳細は、取扱説明書 4.7を、参照ください。）

2. 不具合の修正

   （1） 最適波長の判定基準について
   同一波長あるいは、同一感度の波長を用いて検量線範囲を分割した場合、分析者が意図した波長(検量線)と異なる方を選択することがありました。検量線試料の最小濃度を判定基準に追加し、検量線試料の最小濃度で波長(検量線)を選択するように修正しました。

(2)　時間軸測定画面で、「洗浄液へ移動」をクリックした場合に、エラーメッセージが表示され、オートサンプラが動作しない不具合を修正しました。

Ver 1.01　→　1.10

1. Windows Vista Business SP1に対応
(Windows Vistaは、米国Microsoft Corporation の米国および他の国における登録商標です。)

2. ユーザー波長登録機能の追加
データベースにない分析波長を、ユーザー波長として、自由に登録できるようにしました。
ユーザー波長は、定量分析で利用できます。（詳細は、取扱説明書第6章を参照ください。）

3. ユーザーインターフェースの改善
要望のありましたユーザーインターフェースについて、以下のように改良しました。
（）は、取扱説明書の対応する項目です。

(1)　装置校正試料情報の一括入力が可能になりました。
（3.4.1検量線試料を登録する　■複数のセルの情報を一括編集する）

(2)　結果一覧で、全波長の結果表示が可能になりました。
（4.4.1結果一覧を表示する　）

(3)　結果詳細画面で、初期の表示内容を、メソッドの印刷設定にあわせました。

(4)　結果詳細画面の印刷で、印刷内容を、表示内容と同じにしました。

(5)　プロファイルの拡大手順を変更しました。（4.3プロファイルを表示する）

(6)　試料位置の設定を、キーボードから値を入力するようにしました。

(7)　分析の進捗状況を、より細かく表示するようにしました。

4. 不具合の修正
報告のありました不具合について、以下のように修正しました。

(1)　全ての分析波長について、強い分光干渉が疑われるような場合、最適波長の選定に失敗し、分析値が空欄になる場合がありました。
そのような場合でも、最適波長を選定し、分析値が表示されるように、修正しました。

(2)　希釈補正を使用した場合、検量線の上限濃度の判定を誤り、最適波長が正しく選定されない場合がありました。最適波長の選定アルゴリズムを修正しました。

(3)　全ての波長で、濃度値が検量線上限を超えた場合に、検量線の上限値よりも、定量下限が優先されていたため、外挿範囲の大きい波長が、最適波長として選択される場合がありました。
外挿範囲の狭い検量線を、優先するように変更しました。

(4)　ドリフト補正試料を含む分析データを、診断アシスタントで診断した場合に、ICPEsolutionが異常終了する不具合を修正しました。

(5)　最適波長のみ表示の場合、ドリフト補正試料の結果表示が、全波長表示されませんでした。
全波長の結果を、表示するようにしました。

(6)　一部の分析波長が、プロファイル表示画面のピーク検索用データベースに、登録されていませんでした。未登録波長を、登録しました。

(7)　「最近のメソッド」や「最近のデータ」で、ファイルを開いたときに、そのファイルがすでに移動していた場合などに、読み込みエラーとなり、存在しないファイルはリストから除かれていました。引き続き表示するようにしました。

(8)　一部のＰＣで、エクスプローラからiedファイルを開こうとすると、ICPEsolutionが異常終了する不具合を修正しました。

(9)　バブラーモードで点灯する場合に、パージ時間にバブラー用追加時間が、足されていなかっ

た不具合を修正しました。

（10） プラズマ点灯時に、ペリスタルティックポンプの回転数が、メソッドの設定に関係なく、20rpmに設定されていた不具合を修正しました。

（11） 波長校正に使用する波長を、17波長にした場合、波長校正中に異常終了する不具合を、修正しました。

（12） 横方向観測キットがついている装置で、観測方向が軸方向に切り替えられている間、横方向パージが停止する場合がある不具合を修正しました。

（13） 分析終了後、装置制御画面でプラズマスタンド条件を変更した場合に、修正内容が装置に反映されない場合がある不具合を修正しました。

3. ICPEsolutionをお使いになる上でのご注意

3.1.PCの設定に関するご注意

分析中に、スタンバイ、および、休止状態に移行すると、分析を続けることができません。
省電力モードの設定で、スタンバイ、および、休止状態への自動移行を、Offにしてください。
詳しい設定方法は、インストールマニュアルをご覧ください。